

# ハードウェア リファレンス ガイド

## HP Compaq 8000 Elite US Business PC

© Copyright 2009 Hewlett-Packard  
Development Company, L.P. 本書の内容  
は、将来予告なしに変更されることがあり  
ます。

Microsoft、Windows および Windows Vista  
は米国またはその他の国における Microsoft  
Corporation の商標または登録商標です。

HP 製品およびサービスに対する保証は、当  
該製品およびサービスに付属の限定的保証  
規定に明示的に記載されているものに限ら  
れます。本書のいかなる内容も、当該保証  
に新たに保証を追加するものではありません。  
本書に記載されている製品情報は、日  
本国内で販売されていないものも含まれて  
いる場合があります。本書の内容につきま  
しては万全を期しておりますが、本書の技  
術的あるいは校正上の誤り、省略に対し  
ては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有  
権に関する情報が掲載されています。本書  
のいかなる部分も、Hewlett-Packard  
Company の書面による承諾なしに複写、複  
製、あるいは他言語へ翻訳することはでき  
ません。

ハードウェア リファレンス ガイド

HP Compaq 8000 Elite US Business PC

初版：2009年11月

製品番号：588914-291

## このガイドについて

このガイドでは、このコンピューターの機能およびハードウェアのアップグレードについて説明します。

- △ **警告！** その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。
  - △ **注意：** その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。
  - ☞ **注記：** 重要な補足情報です。
-



# 目次

## 1 製品の特長

標準構成の機能 .....	1
フロント パネルの各部 .....	2
リア パネルの各部 .....	3
キーボード .....	4
Windows ロゴ キーの使用 .....	4
シリアル番号の記載位置 .....	6

## 2 ハードウェアのアップグレード

保守機能 .....	7
警告および注意 .....	7
電源コードの接続 .....	9
コンピューターのアクセス パネルの取り外し .....	10
コンピューターのアクセス パネルの取り付け .....	11
フロント パネルの取り外しと取り付け .....	12
ドライブ ベイ カバーの取り外し .....	14
横置きから縦置きへの変更 .....	15
メモリの増設 .....	16
SODIMM .....	16
DDR3-SDRAM SODIMM .....	16
SODIMM ソケットへの取り付け .....	17
SODIMM の取り付け .....	18
オプティカル ドライブの取り付け .....	20
既存のオプティカル ドライブの取り外し .....	20
新しいオプティカル ドライブの準備 .....	21
新しいオプティカル ドライブの取り付け .....	22
ハードディスク ドライブの交換 .....	24
コネクタ カバーの取り付けと取り外し .....	28

## 付録 A 仕様

## 付録 B バッテリーの交換

## 付録 C セキュリティ ロック

セキュリティ ロックの取り付け .....	35
セキュリティ ロック ケーブル .....	35
南京錠 .....	36
HP Business PC セキュリティ ロック .....	37
フロント パネルのセキュリティ .....	38

## 付録 D 静電気対策

静電気による損傷の防止 .....	41
アースの方法 .....	41

## 付録 E コンピューター操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意

コンピューター操作のガイドラインおよび手入れに関する注意 .....	42
オプティカル ドライブの使用上の注意 .....	43
操作および取り扱いに関する注意 .....	43
クリーニングの注意 .....	43
安全にお使いいただくためのご注意 .....	43
運搬時の注意 .....	43

索引 .....	44
----------	----

# 1 製品の特長

## 標準構成の機能

HP Compaq 8000 Elite US の機能は、モデルによって異なる場合があります。お使いのコンピューターに取り付けられているハードウェアおよびインストールされているソフトウェアの一覧を表示するには、診断用ユーティリティを実行します（一部のモデルのコンピューターにのみ付属しています）。

図 1-1 HP Compaq 8000 Elite US の構成



# フロントパネルの各部

ドライブの構成はモデルによって異なります。

図 1-2 フロントパネルの各部

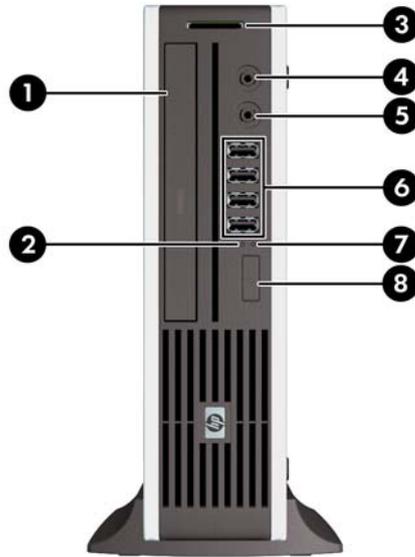


表 1-1 フロントパネルの各部

1	オプティカルドライブ	5	マイク/ヘッドフォン コネクタ
2	システム電源ランプ	6	USB (Universal Serial Bus) コネクタ
3	SD メディア カードリーダー (オプション)	7	ハードディスク ドライブ ランプ
4	ヘッドフォン コネクタ	8	電源ボタン

**注記：** マイク/ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、コネクタをマイク用のライン入力として使用するかヘッドフォン用にライン出力として使用するかをたずねるダイアログ ボックスが表示されます。コネクタは、Windows®タスクバーの[Realtek HD Audio Manager]アイコンをダブルクリックしていつでも再設定できます。

**注記：** 通常、電源が入っている場合、電源ランプは緑色に点灯します。電源ランプが赤く点滅している場合は、コンピューターにトラブルが発生しており、診断コードが表示されます。

# リアパネルの各部

図 1-3 リアパネルの各部

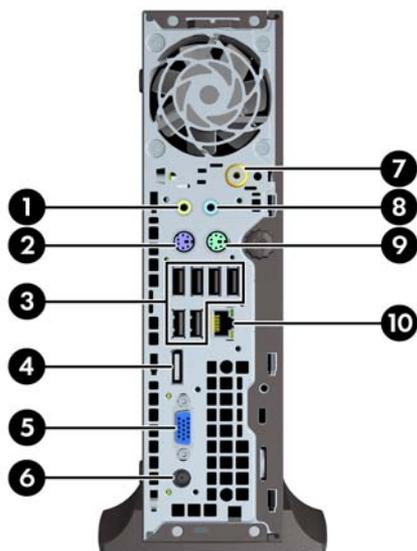


表 1-2 リアパネルの各部

1		ラインアウト オーディオ コネクタ 電源供給機能付きオーディオ機器用 (緑色)	6		電源コード コネクタ
2		PS/2 キーボード コネクタ (紫色)	7		テレビ チューナー (オプション)
3		USB (Universal Serial Bus) (×6)	8		ラインイン オーディオ コネクタ (青色)
4		DisplayPort モニター コネクタ	9		PS/2 マウス コネクタ (緑色)
5		VGA モニター コネクタ (青色)	10		RJ-45 ネットワーク コネクタ

**注記：** 装備されているコネクタの種類や数は、モデルによって異なる場合があります。

青色のラインイン オーディオ コネクタにデバイスを接続すると、コネクタをラインイン デバイス用またはマイク用に使用するかをたずねるダイアログ ボックスが表示されます。コネクタは、Windows タスクバーの[Realtek HD Audio Manager]アイコンをダブルクリックしていつでも再設定できます。

# キーボード

図 1-4 キーボードの各部

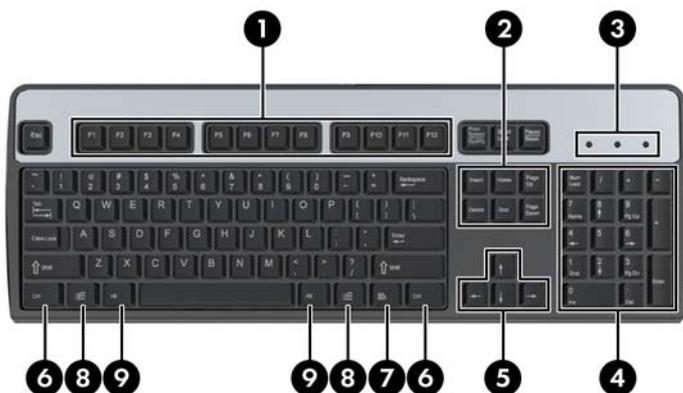


表 1-3 キーボードの各部

1	ファンクションキー	この機能は、お使いのアプリケーションソフトウェアによって異なります
2	編集キー	ここには、 <a href="#">Insert</a> 、 <a href="#">Home</a> 、 <a href="#">Page Up</a> 、 <a href="#">Delete</a> 、 <a href="#">End</a> および <a href="#">Page Down</a> の各キーがあります
3	ステータスランプ	コンピューターおよびキーボード設定のステータスを示します (Num Lock、Caps Lock、および Scroll Lock)
4	数字キー	電卓のテンキーのように使用できます
5	矢印キー	文書ファイルやワークシート、または Web サイト内を移動するときに使用します。キーボードのキーを押すことによって、マウスを使用しないで画面内を上下左右に移動できます
6	Ctrl キー	別のキーと組み合わせて使用します。機能は、使用しているアプリケーションソフトウェアによって異なります
7	アプリケーションキー <sup>1</sup>	マウスの右ボタンと同様に、[Microsoft® Office]アプリケーション内でポップアップメニューを表示させるために使用します。また、別のソフトウェアアプリケーションでは別の機能を実行することもできます
8	Windows ロゴキー <sup>1</sup>	Microsoft Windows の[スタート]メニューを開くために使用します。他のキーと組み合わせて使用すると、別の機能を実行できます
9	Alt キー	別のキーと組み合わせて使用します。機能は、使用しているアプリケーションソフトウェアによって異なります

<sup>1</sup> 一部の地域でのみ使用可能なキーです。

## Windows ロゴ キーの使用

Windows ロゴ キーを他のキーと組み合わせて、Windows オペレーティングシステムで利用できるさまざまな機能を実行することができます。Windows ロゴ キーの位置については、[4 ページの「キーボード」](#)を参照してください。

**表 1-4 Windows ロゴ キーの機能**

以下の Windows ロゴ キーの各機能は、Microsoft Windows XP、Microsoft Windows Vista®、および Microsoft Windows 7 に対応しています。	
Windows ロゴ キー	Windows の[スタート]メニューを表示または非表示にします
Windows ロゴ+ d キー	デスクトップを表示します
Windows ロゴ+ m キー	開いているすべてのアプリケーションを最小化します
Shift + Windows ロゴ+ m キー	最小化したすべてのアプリケーションを元に戻します
Windows ロゴ+ e キー	エクスプローラーの[マイ コンピューター]を起動します
Windows ロゴ+ f キー	ファイルやフォルダーの検索を起動します
Windows ロゴ+ Ctrl + f キー	他のコンピューターの検索を起動します
Windows ロゴ+ F1 キー	Windows のヘルプ画面を起動します
Windows ロゴ+ l キー	ネットワーク ドメインに接続している場合は、コンピューターがロックされます。ネットワーク ドメインに接続していない場合は、ユーザーの切り替えが可能になります
Windows ロゴ+ r キー	[ファイル名を指定して実行]ダイアログ ボックスを表示します
Windows ロゴ+ u キー	[ユーティリティ マネージャー]を起動します
Windows ロゴ+ Tab キー	Windows XP : タスクバーのボタンを切り替えます  Windows Vista および Windows 7 : Windows フリップ 3D を使用してタスクバー上のプログラムを切り替えます
上の Windows ロゴ キーの機能に加えて、Microsoft Windows Vista および Windows 7 では以下の機能も使用可能です。	
Ctrl + Windows ロゴ+ Tab キー	Windows Flip 3-D を使用して、矢印キーでタスクバー上のプログラムを切り替えます
Windows ロゴ+スペースバー	すべてのガジェットを手前に移動して、Windows サイドバーを選択します
Windows ロゴ+ g キー	サイドバーのガジェットを切り替えます
Windows ロゴ+ t キー	タスクバー上のプログラムを切り替えます
Windows ロゴ+ u キー	[コンピューターの簡単操作センター]を起動します
Windows ロゴ+任意の数字キー	キーの番号と対応する位置にあるクイック起動のショートカットを表示します。たとえば、Windows ロゴ+ 1 キーではクイック起動メニューの 1 番目のショートカットが表示されます
上の Windows ロゴ キーの機能に加えて、Microsoft Windows 7 では以下の機能も使用可能です。	
Windows ロゴ+ Ctrl + b キー	通知領域にメッセージを表示したプログラムに切り替えます
Windows ロゴ+ p キー	プレゼンテーション表示モードを選択します
Windows ロゴ+上向き矢印キー	ウィンドウを最大化します
Windows ロゴ+左向き矢印キー	ウィンドウを画面の左半分にスナップします
Windows ロゴ+右向き矢印キー	ウィンドウを画面の右半分にスナップします
Windows ロゴ+下向き矢印キー	ウィンドウを最小化します
Windows ロゴ+ Shift +上向き矢印キー	ウィンドウを画面の上下方向に最大化します

**表 1-4 Windows ロゴ キーの機能 (続き)**

Windows ロゴ+ Shift + 左向き矢印キーまたは 右向き矢印キー	ウィンドウを別のモニターに移動します
---	--------------------

Windows ロゴ+ (数字キーの) + (プラス) キー	拡大します
-----------------------------------	-------

Windows ロゴ+ (数字キーの) - キー	縮小します
--------------------------	-------

## シリアル番号の記載位置

各コンピュータの下記の位置には、固有のシリアル番号ラベルおよび製品識別番号ラベルが貼付されています。HP のサポート窓口にお問い合わせになる場合は、これらの番号をお手元に用意しておいてください。

**図 1-5** シリアル番号および製品識別番号ラベルの位置



## 2 ハードウェアのアップグレード

### 保守機能

このコンピューターには、アップグレードおよび保守を容易にする機能が組み込まれています。この章で説明する取り付け手順のほとんどでは、道具を使用する必要がありません。

### 警告および注意

アップグレードを行う前に、このガイドに記載されている、該当する手順、注意、および警告を必ずよくお読みください。

- △ **警告！** 感電、火傷、火災などによる怪我または装置の損傷の危険がありますので、以下の点に注意してください。

電源コードを電源コンセントから抜き、本体内部の温度が十分に下がっていることを確認してから、以下の手順に進んでください。

電話回線のモジュラー ジャックを本体のリア パネルのネットワーク コネクタ (NIC) に接続しないでください。

必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。

電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに差し込んでください。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をする際の姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/>から[日本語]を選択してご覧になれます。

**警告！** 内部には通電する部品や可動部品が含まれています。

カバーやパネル等を取り外す前に、電源コードをコンセントから抜き、装置への外部電源の供給を遮断してください。

装置を再び外部電源に接続する前に、取り外したカバーやパネル等を元の位置にしっかりと取り付けなおしてください。

- △ **注意：** 静電気の放電によって、コンピューターやオプションの電気部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、付録 D、[41 ページの「静電気対策」](#)を参照してください。

コンピューターが電源コンセントに接続されていると、電源が入ってなくてもシステム ボードには常に電気が流れています。内部部品の損傷を防ぐため、コンピューターのカバーを開ける場合は、電源を切るだけでなく、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください。

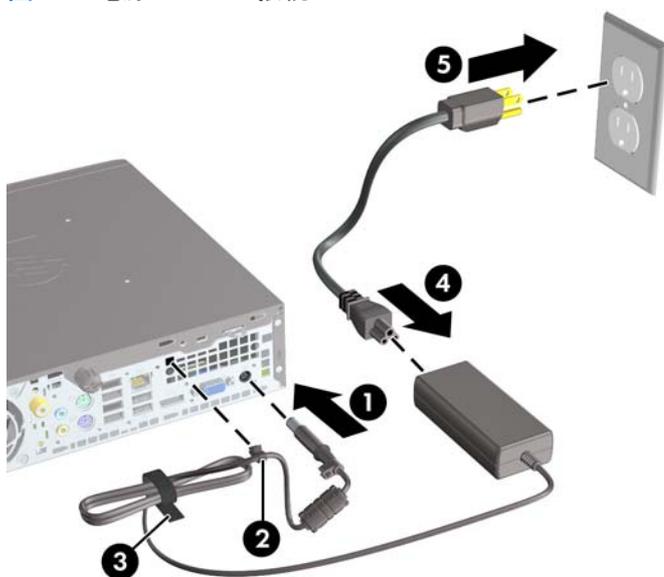
---

## 電源コードの接続

電源を接続するときは、以下の手順に沿って、電源コードがコンピューターから抜けないようにする必要があります。

1. 電源コードの丸い端子をコンピューターの背面の電源コネクタに接続します (1)。
2. 電源コードの留め具を換気口のスロットに差し込んで、コードがコンピューターから外れないようにします (2)。
3. 余分な電源コードを付属のストラップを使用してまとめます (3)。
4. もう1つの電源コードのメス型コネクタを電源用アダプターに差し込みます (4)。
5. その電源コードのもう一方の端を電源コンセントにつなぎます (5)。

図 2-1 電源コードの接続



△ **注意：** 電源ケーブルを留め具で固定していない場合、電源コードが外れてデータが失われる可能性があります。

## コンピューターのアクセス パネルの取り外し

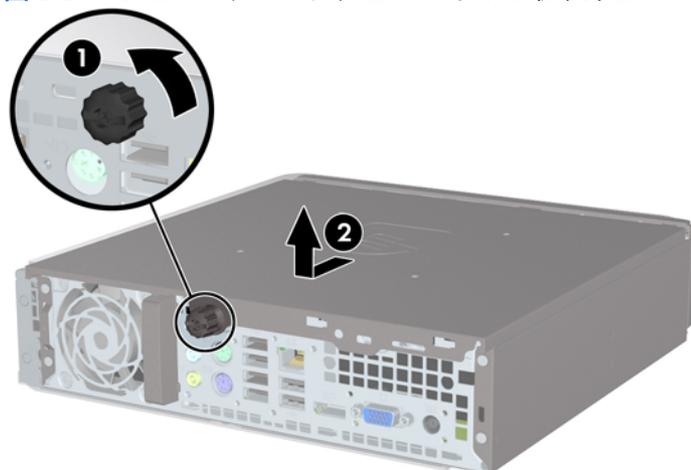
内部部品にアクセスするには、アクセス パネルを以下の手順で取り外す必要があります。

1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. CD や USB フラッシュ ドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピューターおよび外付けデバイスの電源をすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

△ **注意：** システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードを抜いてください。

5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外してから置きます。
6. コンピューターの背面にあるネジを緩め (1)、アクセス パネルをコンピューターの背面の方向にスライドさせ、引き上げて取り外します (2)。

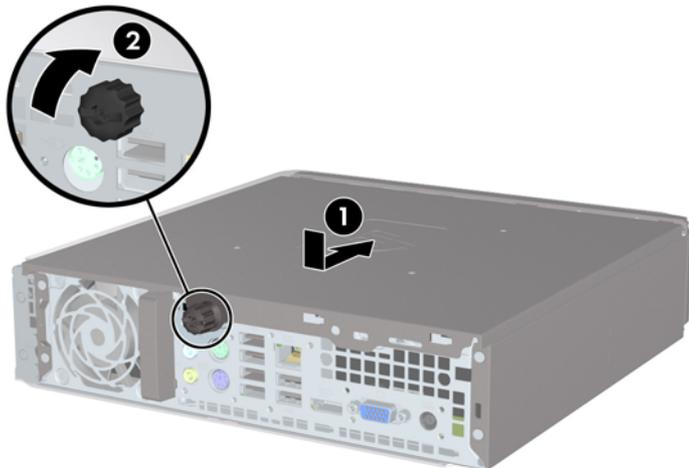
図 2-2 コンピューターのアクセス パネルの取り外し



## コンピューターのアクセス パネルの取り付け

1. パネルのタブをシャーシのスロットの位置と合わせ、パネルをシャーシの前面に向かって停止するまでスライドさせます (1)。
2. ネジを締めてアクセス パネルを固定します (2)。

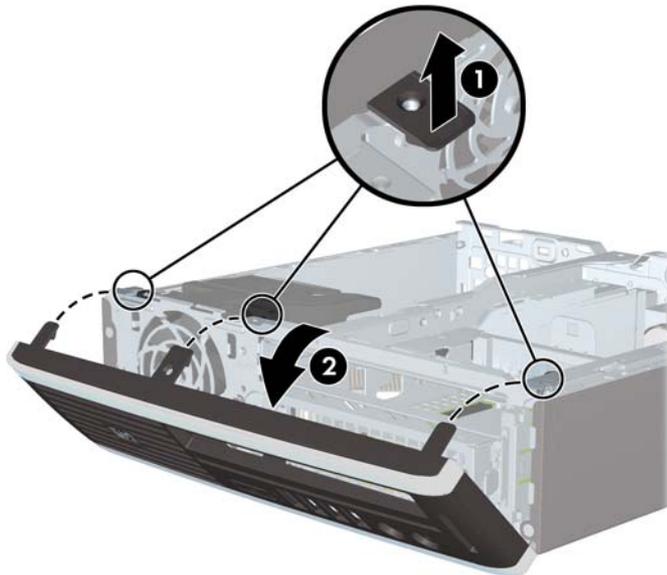
図 2-3 コンピューターのアクセス パネルの取り付け



## フロントパネルの取り外しと取り付け

1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
  2. CD や USB フラッシュ ドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。
  3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピューターおよび外付けデバイスの電源をすべて切ります。
  4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。
- △ **注意：** システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードを抜いてください。
5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外してから置きます。
  6. コンピューターのアクセス パネルを取り外します。
  7. フロントパネルの側面にある3つのタブを持ち上げ (1)、パネルをシャーシから回転させて引き離します (2)。

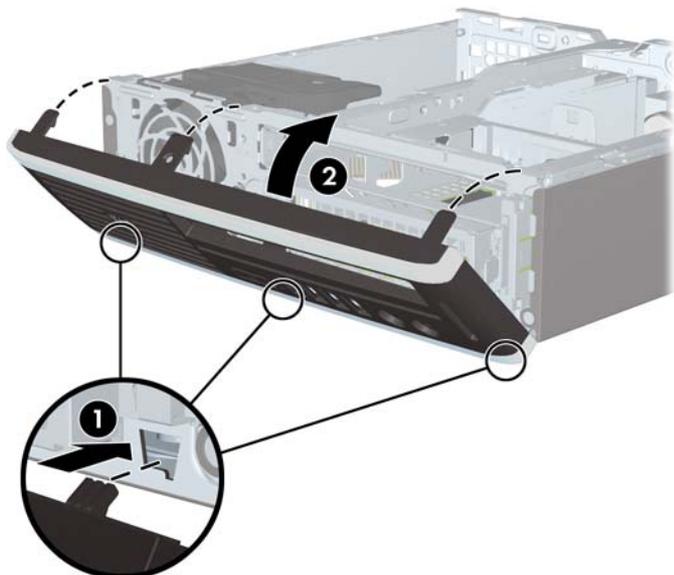
図 2-4 フロントパネルの取り外し



フロントパネルを取り付けなおすには、以下の操作を行います。

1. フロントパネルの底辺にある3つのフックをシャーシの四角い穴(1)に差し込みます。フロントパネルの上側を、シャーシの所定の位置に収まりカチッという音がするまで押し込みます(2)。

図 2-5 フロントパネルの取り付け



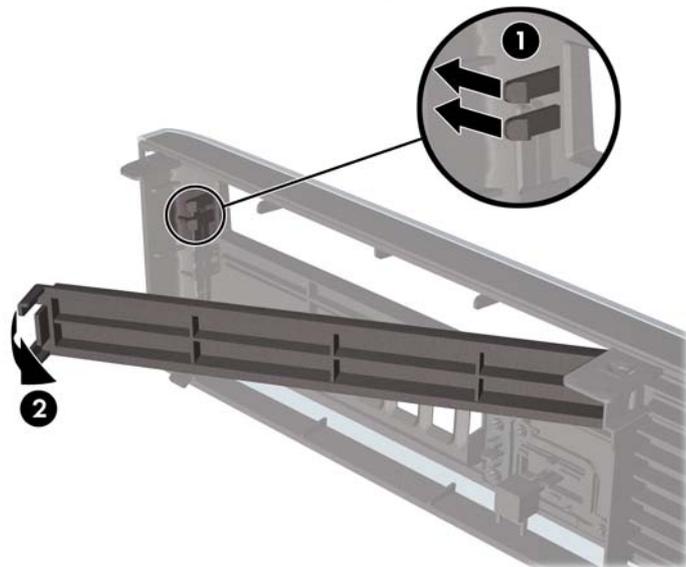
2. アクセスパネルを取り付けなおします。
3. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドを再び取り付けます。
4. 電源コードを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。
5. アクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティデバイスをすべて取り付けなおします。

## ドライブ ベイ カバーの取り外し

一部のモデルには、外付けドライブ ベイにドライブ ベイ カバーが付いています。ドライブを取り付ける前にこのドライブ ベイ カバーを取り外す必要があります。ドライブ ベイ カバーを取り外すには、以下の操作を行います。

1. フロント パネルを取り外します。
2. ドライブ ベイ カバーを所定の位置に固定している 2 つの固定タブをフロント パネルの外側左方向に向けて押し (1)、ドライブ ベイ カバーを内側に引き出して (2)、ドライブ ベイ カバーを取り外します。

図 2-6 ドライブ ベイ カバーの取り外し



## 横置きから縦置きへの変更

1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
  2. CD や USB フラッシュ ドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。
  3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピューターおよび外付けデバイスの電源をすべて切ります。
  4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。
- △ **注意：** システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードを抜いてください。
5. コンピューターをスタンドの上を下ろします。

図 2-7 コンピューターをスタンドに固定



6. 外付け装置を取り付け、電源コードをコンセントに差し込んで、コンピューターの電源を入れます。
7. コンピューターのカバーまたはアクセス パネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。

縦置きから横置きに変更するには、上記の手順を逆の順序で実行します。

📖 **注記：** HP では、コンピューターを壁、机、またはスウィング アームに取り付けるための、HP クイック リリース ブラケットをオプションで提供しています。

## メモリの増設

お使いのコンピューターは、ダブル データ レート 3 シンクロナス DRAM (DDR3-SDRAM) スモール アウトライン デュアル インライン メモリ モジュール (SODIMM) を装備しています。

### SODIMM

システム ボード上にあるメモリ ソケットには、業界標準の SODIMM を 2 つまで取り付けることができます。これらのメモリ ソケットには、少なくとも 1 つの SODIMM が標準装備されています。システム ボードに最大 8 GB までメモリを増設できます。

### DDR3-SDRAM SODIMM

システムを正常に動作させるためには、必ず以下の条件を満たす SODIMM を使用してください。

- 業界標準の 204 ピン
- アンバッファード非 ECC PC3-8500 DDR3-1066 MHz 準拠、または PC3-10600 DDR3-1333 MHz 準拠
- 1.5 ボルト DDR3-SDRAM SODIMM

DDR3-SDRAM SODIMM は、以下の条件も満たしている必要があります。

- CAS レイテンシ 7 (DDR3/1066 MHz、7-7-7 タイミング) および CAS レイテンシ 9 (DDR3/1333 MHz、9-9-9 タイミング) をサポートしている
- JEDEC (Joint Electronic Device Engineering Council) の仕様に準拠している

さらに、お使いのコンピューターでは以下の機能やデバイスがサポートされます。

- 512 メガビット、1 ギガビット、および 2 ギガビットの非 ECC メモリ テクノロジ
- 片面および両面 SODIMM
- x8 および x16 DDR デバイスで構成された SODIMM。x4 SDRAM で構成された SODIMM はサポートされない

 **注記：** サポートされない SODIMM が取り付けられている場合、システムは正常に動作しません。

## SODIMM ソケットへの取り付け

システム ボードには2つの SODIMM ソケットがあり、1つのチャンネルについて1つのソケットがあります。ソケットには、XMM1 および XMM3 の番号が付けられています。XMM1 ソケットはメモリ チャンネル A で動作し、XMM3 ソケットはメモリ チャンネル B で動作します。

図 2-8 SODIMM ソケットの位置

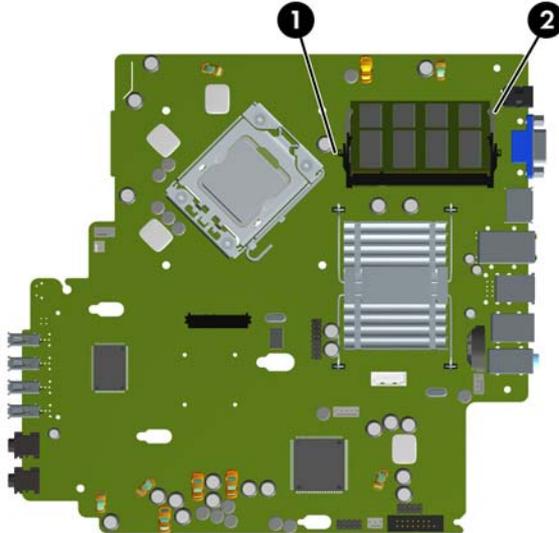


表 2-1 SODIMM ソケットの位置

番号	説明	ソケットの色
1	SODIMM1 ソケット、チャンネル A	黒
2	SODIMM3 ソケット、チャンネル B	白

**注記：** SODIMM は、黒い XMM1 ソケットに取り付ける必要があります。正しいソケットに取り付けなければ、メモリ モジュールを黒いソケットに取り付けるよう指示する POST エラー メッセージが表示されます。

取り付けられている SODIMM に応じて、システムは自動的にシングル チャンネル モード、デュアル チャンネル モード、またはフレックス モードで動作します。

- 1つのチャンネルの SODIMM ソケットにのみ SODIMM が取り付けられている場合、システムはシングル チャンネル モードで動作します。
- チャンネル A の SODIMM の合計メモリ容量とチャンネル B の SODIMM の合計メモリ容量が同じであれば、システムはより高性能なデュアル チャンネル モードで動作します。
- チャンネル A の SODIMM のメモリ容量とチャンネル B の SODIMM のメモリ容量が異なる場合、システムはフレックス モードで動作します。フレックス モードでは、最も容量の小さいメモリが取り付けられているチャンネルがデュアル チャンネルに割り当てられるメモリの総量を表し、残りはシングル チャンネルに割り当てられます。1つのチャンネルのメモリ容量が他方よりも多い場合は、多い方をチャンネル A に割り当てる必要があります。
- どのモードでも、最高動作速度はシステム内で最も動作の遅い SODIMM によって決定されます。

## SODIMM の取り付け

- △ **注意：** メモリ モジュールの取り付けまたは取り外しを行う場合は、電源コードを抜いて電力が放電するまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。コンピューターが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、メモリ モジュールには常に電気が流れています。電気が流れている状態でメモリ モジュールの着脱を行うと、メモリ モジュールまたはシステムボードが完全に破損するおそれがあります。システム ボードのランプが点灯している場合は、まだ電気が流れています。

お使いのメモリ モジュール ソケットの接点には、金メッキが施されています。メモリを増設するときには、接点の金属が異なるときに生じる酸化や腐食を防ぐため、メモリ モジュールは金メッキのものを使用してください。

静電気の放電によって、コンピューターやオプション カードの電子部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、付録 D、[41 ページの「静電気対策」](#)を参照してください。

メモリ モジュールを取り扱うときは、金属製の接点に触れないでください。金属製の接点に触れると、モジュールが破損するおそれがあります。

1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. CD や USB フラッシュ ドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピューターおよび外付けデバイスの電源をすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

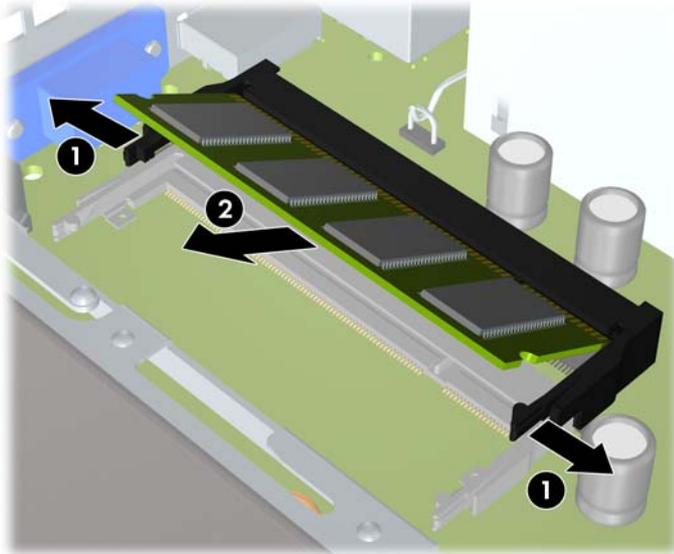
- △ **注意：** メモリ モジュールの取り付けまたは取り外しを行う場合は、電源コードを抜いて電力が放電するまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。コンピューターが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、メモリ モジュールには常に電気が流れています。電気が流れている状態でメモリ モジュールの着脱を行うと、メモリ モジュールまたはシステムボードが完全に破損するおそれがあります。

5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外してから置きます。
6. コンピューターのアクセス パネルを取り外します。
7. システム ボード上のメモリ モジュール ソケットの位置を確認します。

- △ **警告！** 火傷の危険がありますので、必ず、本体内部の温度が十分に下がっていることを確認してから、次の手順に進んでください。

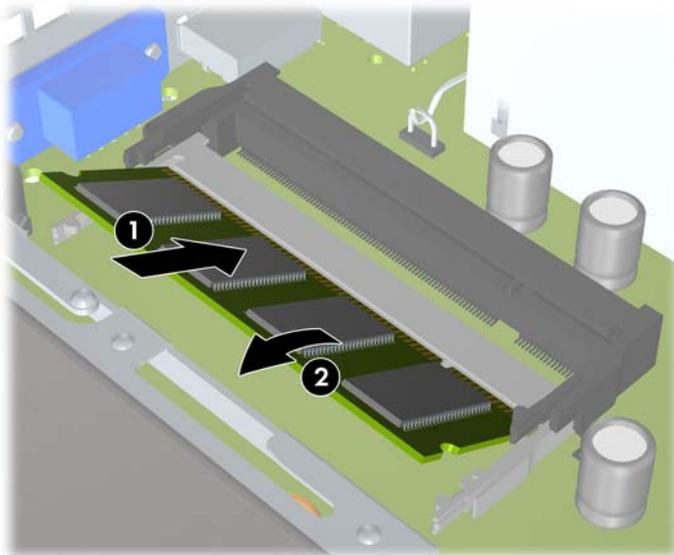
- 2つ目の SODIMM を追加する場合は、上部の XMM1 ソケットから SODIMM を取り外し、下部の XMM3 ソケットにアクセスします。SODIMM の両側にある 2 つのラッチを外側に押し (1)、ソケットから SODIMM を引き出します (2)。

図 2-9 SODIMM の取り出し



- 新しい SODIMM を約 30° の角度でソケットに差し込み (1)、SODIMM を押し下げて (2) ラッチを所定の位置に固定します。

図 2-10 SODIMM の取り付け



**注記：** メモリ モジュールは、一方向にのみ取り付け可能です。メモリ モジュールのノッチ (切り込み) をソケットのタブに合わせます。

SODIMM は、XMM1 (上部) ソケットに取り付ける必要があります。

- SODIMM が取り外されている場合は、XMM1 ソケットに取り付けなおします。
- アクセス パネルを取り付けなおします。

12. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドを再び取り付けます。
13. 電源コードを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。
14. コンピューターのカバーまたはアクセス パネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。

コンピューターの電源を入れたときに、増設メモリが自動的に認識されます。

## オプティカル ドライブの取り付け

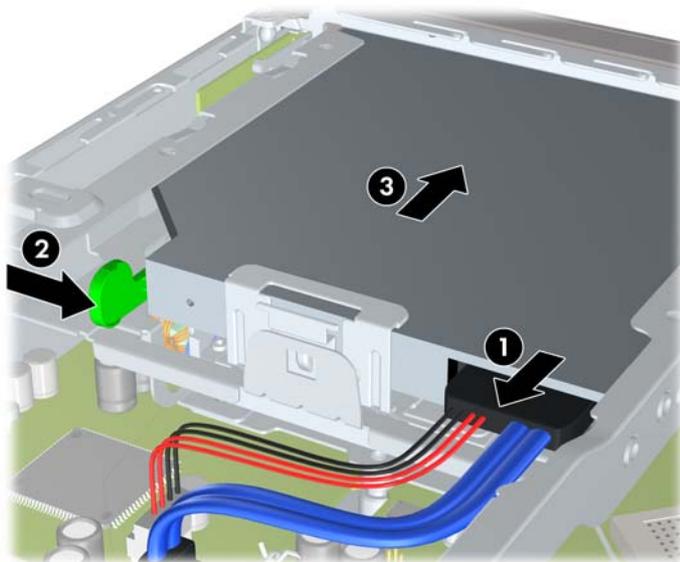
ウルトラスリム型コンピューターには、薄型のシリアル ATA (SATA) オプティカル ドライブが使用されています。

## 既存のオプティカル ドライブの取り外し

1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
  2. CD や USB フラッシュ ドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。
  3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピューターおよび外付けデバイスの電源をすべて切ります。
  4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。
- 
- △ **注意：** システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードを抜いてください。
5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外してから置きます。
  6. コンピューターのアクセス パネルを取り外します。

7. オプティカルドライブの背面のケーブルを外し (1)、ドライブの背面右側にある緑色のリリースラッチをドライブの中央に向かって押し (2)、ドライブを前方向にスライドさせてフロントパネルを通してベイから引き出します (3)。

図 2-11 オプティカルドライブの取り外し



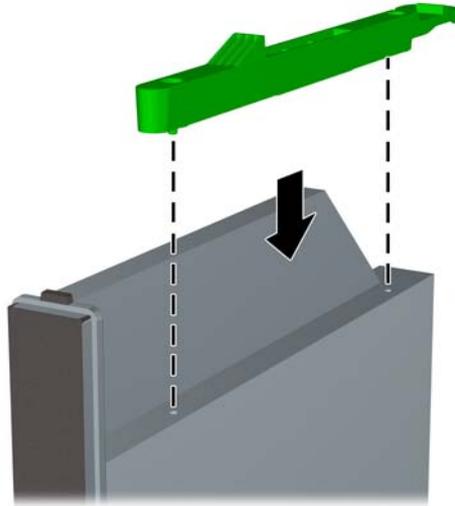
## 新しいオプティカルドライブの準備

新しいオプティカルドライブを使用するには、リリースラッチを取り付ける必要があります。

1. リリースラッチに貼付されている粘着テープの裏紙をはがします。
2. リリースラッチがオプティカルドライブに接触しないように、ゆっくりとリリースラッチの穴をオプティカルドライブの側面にあるピンに合わせます。リリースラッチが正しい位置に取り付けられていることを確認します。
3. オプティカルドライブの前面にあるピンをリリースラッチの端にある穴に挿入して、強く押し込みます。

4. 2 番目のピンを挿入して、リリース ラッチ全体を強く押し込み、ラッチをオプティカルドライブにしっかりと固定させます。

図 2-12 リリース ラッチの位置合わせ



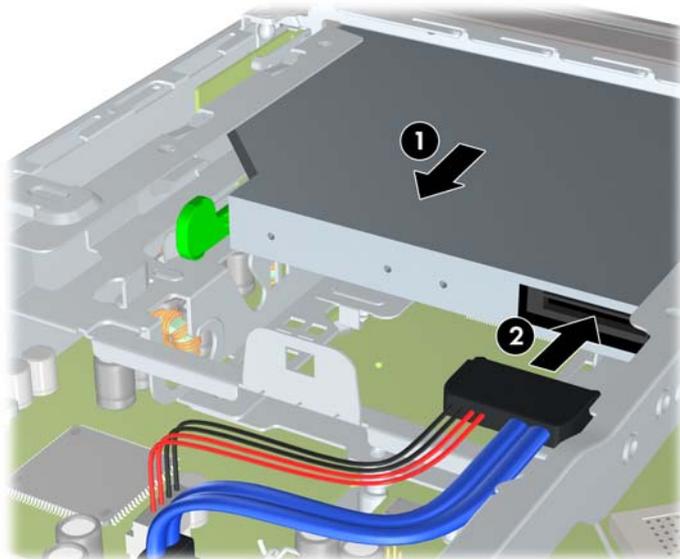
## 新しいオプティカルドライブの取り付け

☞ **注記：** ドライブが入っていなかったベイにオプティカルドライブを取り付ける場合は、手順を先に進める前に、ベイの開口部をカバーしていたアクセスパネルとドライブベイカバーを取り外す必要があります。[10 ページの「コンピューターのアクセスパネルの取り外し」](#)および[14 ページの「ドライブベイカバーの取り外し」](#)の手順に沿ってください。

1. 新しいオプティカルドライブにリリースラッチを取り付けます。[21 ページの「新しいオプティカルドライブの準備」](#)を参照してください。
2. オプティカルドライブの背面がコンピューターおよびドライブの内側のリリースラッチに向くようにして、ドライブをフロントパネルの開口部と合わせます。

3. オプティカルドライブをフロントパネルを通してベイの所定の位置に収まるまでスライドさせ (1)、ケーブルをドライブの背面に接続します (2)。

図 2-13 オプティカルドライブの取り付け



4. アクセスパネルを取り付けなおします。
5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドを再び取り付けます。
6. 電源コードを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。
7. コンピューターのカバーまたはアクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティデバイスをすべて取り付けなおします。

## ハードディスク ドライブの交換

**注記：** HP Compaq 8000 Elite US は 2.5 インチのシリアル ATA (SATA) 内蔵ハードディスク ドライブのみをサポートしています。パラレル ATA (PATA) 内蔵ハードディスク ドライブはサポートしていません。

ハードディスク ドライブを取り外すときは、新しいハードディスク ドライブにデータを移動できるように、必ず事前にドライブ内のデータをバックアップしておいてください。

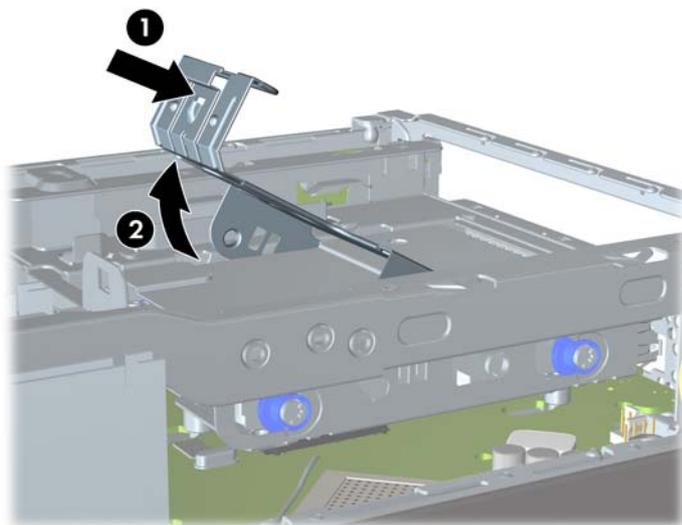
2.5 インチのハードディスク ドライブは、オプティカル ドライブの下のキャリアの中に格納されています。

1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. CD や USB フラッシュ ドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピューターおよび外付けデバイスの電源をすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

**注意：** システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードを抜いてください。

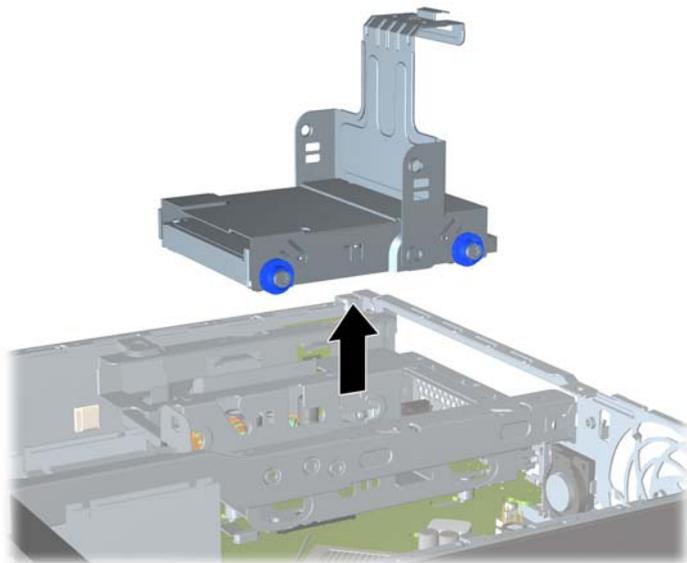
5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外してから置きます。
6. コンピューターのアクセス パネルを取り外します。
7. オプティカル ドライブを取り外します。詳しくは、[20 ページの「既存のオプティカルドライブの取り外し」](#)を参照してください。
8. ハードディスク ドライブのキャリアの左側にあるリリース ラッチを押し (1)、キャリアのハンドルを右側に回転させます (2)。

**図 2-14** ハードディスク ドライブ キャリアの固定解除



9. ハードディスク ドライブを真上に持ち上げ、シャーシから取り出します。

図 2-15 ハードディスク ドライブ キャリアの取り外し



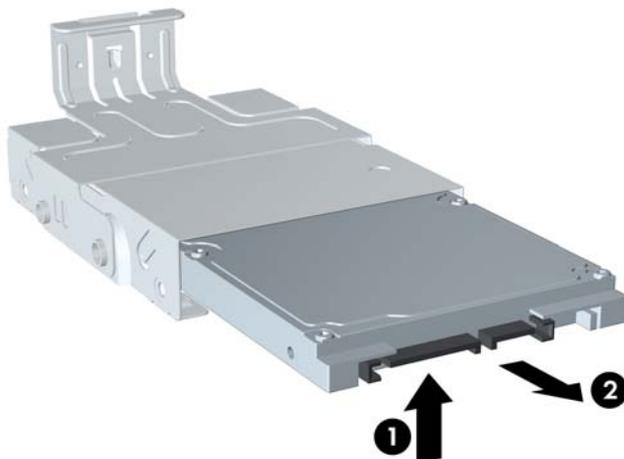
10. ハードディスク ドライブのキャリアの両側から4本のガイド用ネジを外します。

図 2-16 ガイド用ネジの取り外し



11. ハードディスク ドライブがキャリアの上面に接するまでドライブを持ち上げて (1)、キャリアから引き出します (2)。

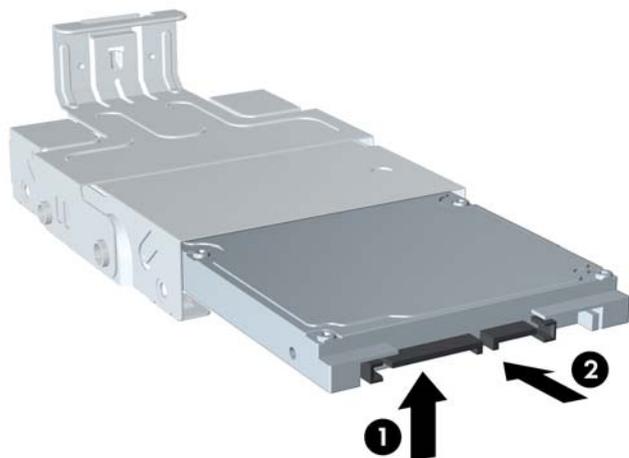
図 2-17 ハードディスク ドライブのキャリアからの取り出し



12. 新しいハードディスク ドライブの上面がキャリアの上面に接触する位置までドライブを持ち上げ (1)、ドライブの下面にある回路基板がキャリアの底面にあるタブに接触しないようにしながら、ドライブをキャリアに挿入します (2)。

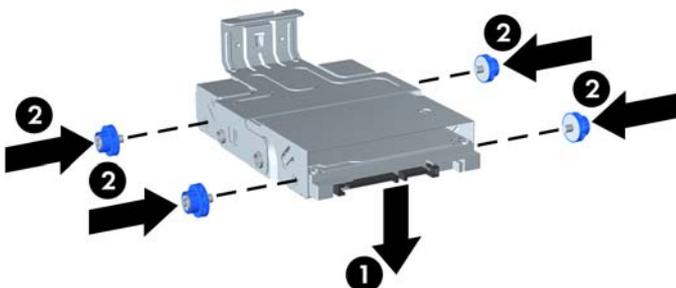
△ **注意：** ハードディスク ドライブをキャリアに挿入するときに、ドライブの下面にある回路基板がキャリアの底面にあるタブに擦られて傷が付かないようにしてください。傷が付いてしまうと、ハードディスク ドライブが完全に破損するおそれがあります。

図 2-18 ハードディスク ドライブのキャリアへの挿入



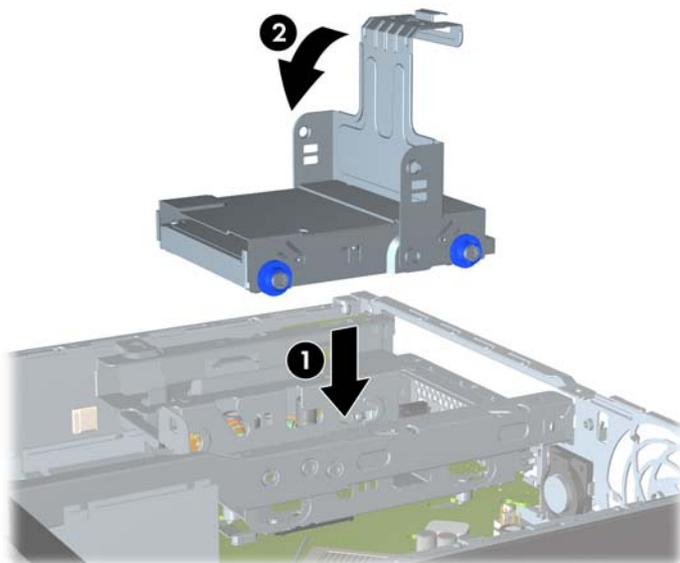
13. ハードディスク ドライブをキャリアの底面に下ろし (1)、4 本のガイド用ネジをキャリアの両側に再度取り付けて、ドライブをキャリアに固定させます (2)。

図 2-19 ハードディスク ドライブを下ろしてガイド用ネジの取り付け



- ハードディスクドライブのキャリアをシャーシに戻すには、ガイド用ネジの位置をドライブベイのスロットの位置と合わせ、キャリアをドライブベイにまっすぐ下ろし (1)、キャリアのハンドルを下まで押して (2)、ドライブを正しく固定します。

図 2-20 ハードディスクドライブキャリアの取り付け



- 光学ドライブを取り付けなおし、光学ドライブの背面にケーブルを接続しなおします。
- コンピューターのアクセスパネルを取り付けなおします。
- スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドを再び取り付けます。
- 電源コードを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。
- コンピューターのカバーまたはアクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティデバイスをすべて取り付けなおします。

 **注記：** SATA ハードディスクドライブのコンフィギュレーションは必要ありません。次回コンピューターの電源を入れたときに、ハードディスクドライブが自動的に認識されます。

## コネクタ カバーの取り付けと取り外し

コンピューター用として、背面のコネクタ カバーがオプションで提供されます。

コネクタ カバーを取り付けるには、以下の操作を行います。

1. コネクタ カバーの下の穴からケーブルを通し (1)、ケーブルをコンピューターの背面ポートに接続します。
2. コネクタ カバーのフックをシャーシ背面のスロットに挿入し、所定の位置に収まるまでカバーを右側に押し込みます (2)。

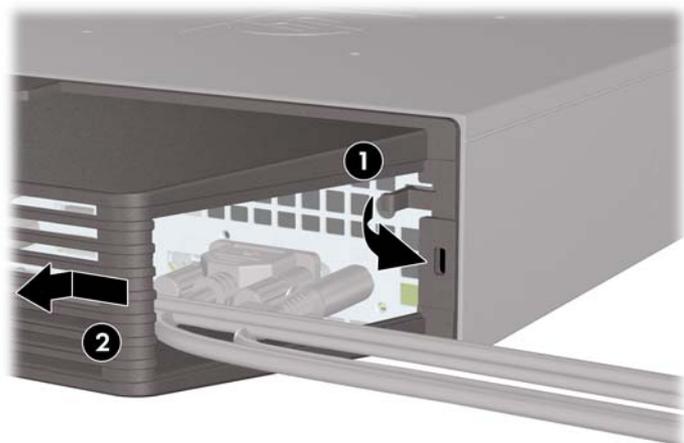
図 2-21 コネクタ カバーの取り付け



**注記：** セキュリティ上の理由から、シャーシにオプションのロック ケーブルを取り付けて、コネクタ カバーをロックし、コンピューターを固定させられます。35 ページの「[セキュリティ ロックの取り付け](#)」を参照してください。

コネクタ カバーは、コネクタ カバーの開口部内にある固定レバーによって所定の位置に固定されます。コネクタ カバーを取り外すには、レバーをコネクタ カバー開口部に向けて引き出し (1)、カバーを左側にスライドさせてコンピューターから外します (2)。

図 2-22 コネクタ カバーの取り外し



# A 仕様

表 A-1 仕様

<b>寸法</b> （縦置き時）		
高さ	2.6 インチ	6.6 cm
幅	9.9 インチ	25.1 cm
奥行き	10.0 インチ	25.4 cm
（コンピューターにポート セキュリティ ブラケットが装備されている場合、奥行きは増加します）		
<b>質量</b> （概算）	6.8 ポンド	3.1 kg
<b>最大荷重</b> （横置き時）	77 ポンド	35 kg
<b>温度範囲</b> （標高によって変化する）		
動作時	50 ~ 95° F	10 ~ 35° C
非動作時	-22 ~ 140° F	-30 ~ 60° C
<b>注記：</b> 動作温度は、継続的に直射日光の当たらない環境で、海拔 3,000 m まで 300 m ごとに 1.0° C 下がります。最大変化率は 10° C/時です。取り付けられたオプションの種類および数によって、上限が異なります。		
<b>相対湿度</b> （結露せず）		
動作時（28° C 最高、湿球）	10 ~ 90%	10 ~ 90%
非動作時（38.7° C 最高、湿球）	5 ~ 95%	5 ~ 95%
<b>動作保証高度</b> （非圧縮）		
動作時	10,000 フィート	3,048 m
非動作時	30,000 フィート	9,144 m
<b>放熱効率</b>		
最大	549 BTU/時	132 kcal/時
通常（非動作時）	133 BTU/時	33.5 kcal/時
<b>電源</b>		
動作電圧 <sup>1</sup>	90 ~ 264 VAC	
定格電圧範囲 <sup>1</sup>	100 ~ 240 VAC	
定格周波数	50/60 Hz	
<b>電源出力</b>	135 W	

**表 A-1 仕様 (続き)**

定格入力電流 (最大) <sup>1</sup>	2.4 A (100 VAC の場合)	1.2 A (200 VAC の場合)
--------------------------	------------------------	------------------------

<sup>1</sup> このシステムは、電圧自動補正外部電源を採用しています。この機能によって、欧州連合加盟国でこのシステムを使用する場合の CE マークの要件を満たしています。また、電圧自動補正電源によって電圧選択スイッチが不要なため、スイッチは搭載されていません。

## B バッテリーの交換

お使いのコンピューターに付属のバッテリーは、リアルタイムクロックに電力を供給するためのものです。バッテリーは消耗品です。バッテリーを交換するときは、コンピューターに最初に取り付けられていたバッテリーと同等のバッテリーを使用してください。コンピューターに付属しているバッテリーは、3V のボタン型リチウムバッテリーです。

- △ **警告！** お使いのコンピューターには、二酸化マンガン リチウム バッテリーが内蔵されています。バッテリーの取り扱いを誤ると、火災や火傷などの危険があります。けがをすることがないように、以下の点に注意してください。

バッテリーを充電しないでください。

バッテリーを 60° C を超える場所に放置しないでください。

バッテリーを分解したり、つぶしたり、ショートさせたり、火中や水に投げたりしないでください。

交換用のバッテリーは、必ず HP が指定したものを使用してください。

- △ **注意：** バッテリーを交換する前に、コンピューターの CMOS 設定のバックアップを作成してください。バッテリーが取り出されたり交換されたりするときに、CMOS 設定がクリアされます。

静電気の放電によって、コンピューターやオプションの電子部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

- ☞ **注記：** リチウム バッテリーの寿命は、コンピューターを電源コンセントに接続することで延長できます。リチウム バッテリーは、コンピューターが外部電源に接続されていない場合にのみ使用されます。

HP では、使用済みの電子機器や HP 製インク カートリッジのリサイクルを推奨しています。日本でのリサイクル プログラムについて詳しくは、<http://h50146.www5.hp.com/program/suppliesrecycling/jp/ja/hardware/index.asp> を参照してください。

1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. CD や USB フラッシュ ドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピューターおよび外付けデバイスの電源をすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

- △ **注意：** システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードを抜いてください。

5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外してから置きます。
6. コンピューターのアクセス パネルを取り外します。
7. システム ボード上のバッテリーおよびバッテリー ホルダーの位置を確認します。

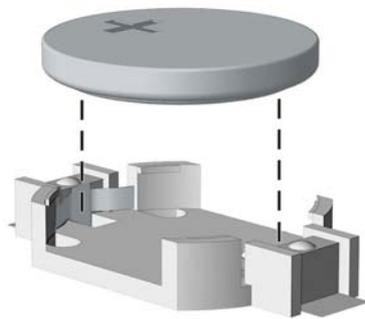
 **注記：** 一部のモデルのコンピューターでは、バッテリーを交換するときに、内部部品を取り外す必要があります。

8. システム ボード上のバッテリー ホルダーの種類に応じて、以下の手順でバッテリーを交換します。

#### タイプ 1

- a. バッテリーをホルダーから持ち上げて外します。

 **B-1** ボタン型バッテリーの取り出し（タイプ 1）



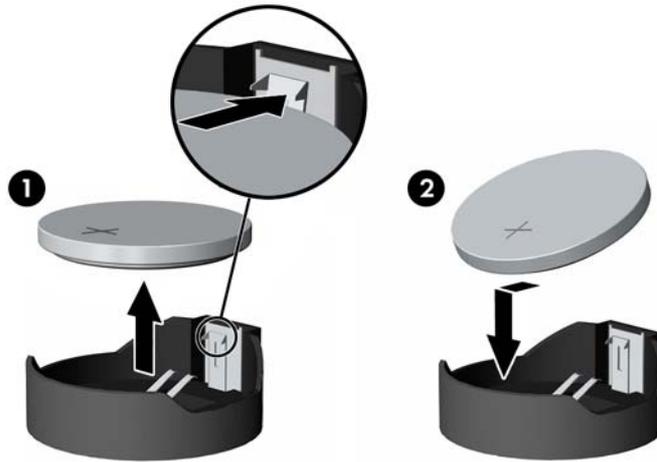
- b. 交換するバッテリーを、[+]と書かれている面を上にして正しい位置に装着します。バッテリーはバッテリー ホルダーによって自動的に正しい位置に固定されます。

#### タイプ 2

- a. バッテリーをホルダーから取り出すために、バッテリーの一方の端の上にある留め金を押し上げます。バッテリーが持ち上がったら、ホルダーから取り出します（1）。

- b. 新しいバッテリーを装着するには、交換するバッテリーを、[+]と書かれている面を上にしてホルダーにスライドさせて装着します。バッテリーの一方の端が留め具の下に収まるまで、もう一方の端を押し下げます (2)。

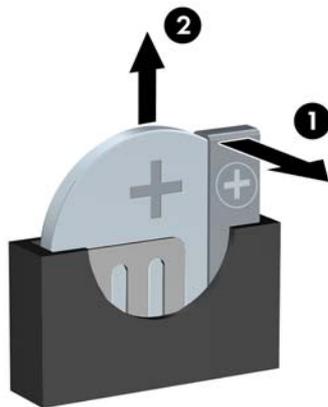
図 B-2 ボタン型バッテリーの取り出しと装着 (タイプ 2)



### タイプ 3

- a. バッテリーを固定しているクリップを後方に引いて (1)、バッテリーを取り出します (2)。
- b. 新しいバッテリーを挿入し、クリップを元の位置に戻します。

図 B-3 ボタン型バッテリーの取り出し (タイプ 3)



☞ **注記:** バッテリーの交換後、以下の操作を行うと交換作業は完了です。

9. アクセス パネルを取り付けなおします。
10. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドを再び取り付けます。
11. 電源コードを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。

12. [コンピューター セットアップ (F10) ユーティリティ]を使用して、日付と時刻、パスワード、およびその他の必要なシステム セットアップを設定しなおします。
13. コンピューターのカバーまたはアクセス パネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。

## C セキュリティ ロック

 **注記：** データ セキュリティ機能について詳しくは、『デスクトップ マネジメントについて』を参照してください。また、一部のモデルでは <http://www.hp.com/jp/> から入手できる『HP ProtectTools セキュリティ マネージャー ガイド』も参照してください。

以下の図および次ページの図に示すセキュリティ ロックは、コンピューターを保護するために使用できます。

### セキュリティ ロックの取り付け

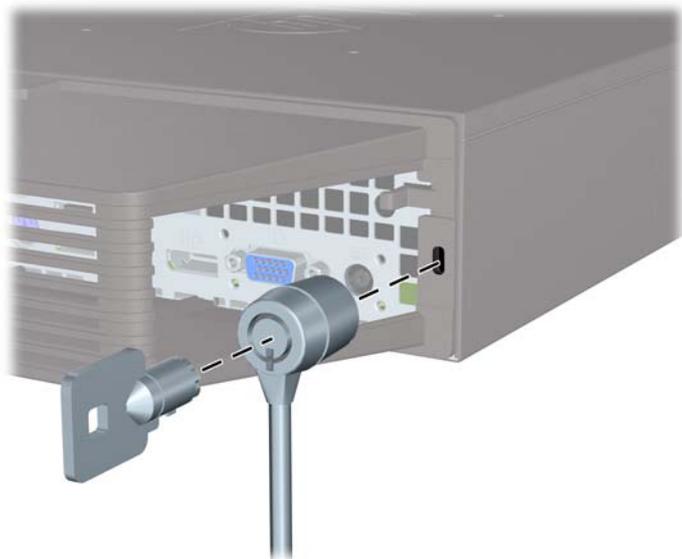
#### セキュリティ ロック ケーブル

コンピューター背面には、ロック ケーブル スロットが2つあります。ネジの隣にあるスロットは、コネクタ カバーが取り付けられていない場合に使用されます。コネクタ カバーが取り付けられている場合は、右端のスロットを使用します。

 **C-1** コネクタ カバーを使用しない場合のロック ケーブルの取り付け



図 C-2 コネクタ カバーを使用する場合のロック ケーブルの取り付け



## 南京錠

図 C-3 南京錠の取り付け



## HP Business PC セキュリティ ロック

1. セキュリティ ケーブルを固定物に巻きつけます。

図 C-4 ケーブルの固定物への固定



2. キーボードとマウスのケーブルを錠に通します。

図 C-5 キーボードとマウスのケーブルによる固定



3. 付属のネジを使用して、錠をコンピューター本体に固定します。

図 C-6 シャーシへの錠の取り付け



4. セキュリティ ケーブルの端の栓を差し込み (1)、ボタンを押し込んで (2) ロックを固定します。ロックの固定を外すには、付属の鍵を使用します。

図 C-7 ロックの固定



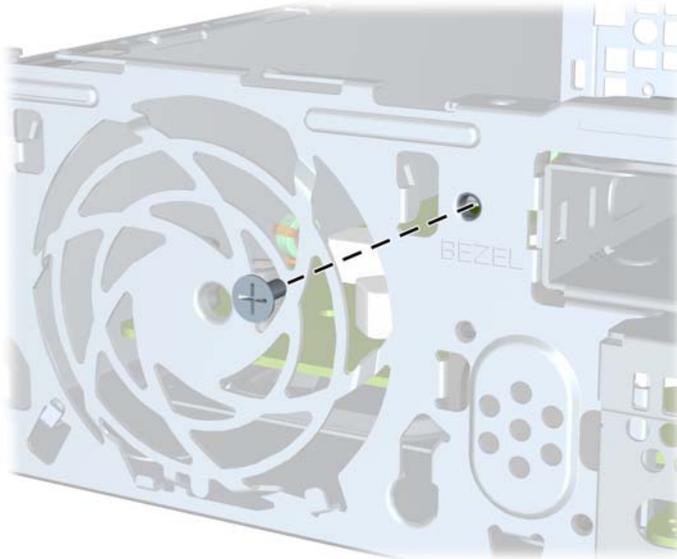
## フロントパネルのセキュリティ

提供されているセキュリティ ネジを取り付けると、フロントパネルを所定の位置で固定できます。セキュリティ ネジを取り付けるには、以下の操作を行います。

1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. CD や USB フラッシュ ドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。

3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピューターおよび外付けデバイスの電源をすべて切ります。
  4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。
- △ **注意：** システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードを抜いてください。
5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外します。
  6. コンピューターのアクセス パネルとフロント パネルを取り外します。
  7. コンピューターのシャーシの前面（パネルの裏）から黒色のネジを取り外します。このネジは、オプティカル ドライブの横の[BEZEL]と書かれている場所にあります。

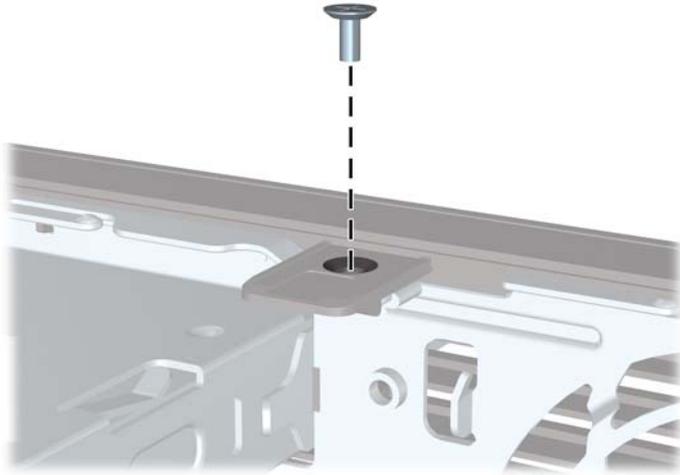
**図 C-8** フロント パネルのセキュリティ ネジの取り外し



8. フロント パネルを取り付けなおします。

9. セキュリティ ネジを、フロントパネル中央のリリース タブを通してシャーシに取り付け、フロントパネルを所定の位置に固定します。

図 C-9 フロントパネルのセキュリティ ネジの取り付け



10. アクセス パネルを取り付けなおします。
11. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドを再び取り付けます。
12. 電源コードを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。
13. アクセス パネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。

## D 静電気対策

人間の指などの導電体からの静電気の放電によって、システム ボードなど静電気に弱いデバイスが損傷する可能性があります。このような損傷によって、デバイスの耐用年数が短くなることがあります。

### 静電気による損傷の防止

静電気による損傷を防ぐには、以下のことを守ってください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごとアースされている面に置きます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れるときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。

### アースの方法

アースにはいくつかの方法があります。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち 1 つ以上の方法でアースを行ってください。

- すでにアースされているコンピューターのシャーシにアース バンドをつなぎます。アース バンドは柔軟な帯状のもので、アース コード内の抵抗は、 $1M\Omega \pm 10\%$  です。アースを正しく行うために、アース バンドは肌に密着させてください。
- 立って作業する場合には、かかとやつま先にアース バンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合には、両足にアース バンドを付けます。
- 磁気を帯びていない作業用具を使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットが付いた、携帯式の作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。

 **注記：** 静電気について詳しくは、HP のサポート窓口にお問い合わせください。

# E コンピューター操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意

## コンピューター操作のガイドラインおよび手入れに関する注意

コンピューターおよびモニターのセットアップや手入れを適切に行えるよう、以下のことを守ってください。

- 湿度の高い所や、直射日光の当たる場所、または極端に温度が高い場所や低い場所には置かないでください。
- コンピューターは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。また、通気が確保されるよう、コンピューターの通気孔のある面とモニターの上部に、少なくとも 10.2 cm の空間を確保してください。
- 内部への通気が悪くなるので、絶対にコンピューターの通気孔をふさがないでください。キーボードを横置き構成の本体のフロントパネルに立てかけることも、おやめください。
- コンピューターのアクセスパネルを取り外したまま使用しないでください。
- コンピューターを積み重ねたり、互いの排気や熱にさらされるほどコンピューターどうしを近くに置いたりしないでください。
- コンピューターを別のエンクロージャに入れて操作する場合、吸気孔および排気孔がエンクロージャに装備されている必要があります。また、この場合にも上記のガイドラインを守ってください。
- コンピューター本体やキーボードに液体をこぼさないでください。
- モニター上部の通気孔は、絶対にふさがないでください。
- スリープ状態を含む、オペレーティングシステムやその他のソフトウェアの電源管理機能をインストールまたは有効にしてください。
- 以下の項目については、必ずコンピューターの電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてから行ってください。
  - コンピューターやモニターの外側、およびキーボードの表面が汚れたら、水で軽く湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、糸くずの出ない柔らかい布で拭いて乾かしてください。洗剤などを使用すると、変色や変質の原因となります。
  - コンピューターの通気孔やモニター上部の通気孔は、ときどき掃除してください。糸くずやほこりなどの異物によって通気孔がふさがれると、内部への通気が悪くなり、故障の原因となります。

# オプティカルドライブの使用上の注意

オプティカルドライブの操作や手入れは、以下の項目に注意して行ってください。

## 操作および取り扱いに関する注意

- 操作中はドライブを動かさないでください。データ読み取り中にドライブを動かすと誤動作することがあります。
- 急に温度が変化するとドライブ内に結露することがあるので気をつけてください。ドライブの電源が入っているときに急な温度変化があった場合は、1時間以上待ってから電源を切ってください。すぐに操作すると、誤動作が起きることがあります。
- ドライブは高温多湿、直射日光が当たる場所、または機械の振動がある所には置かないでください。

## クリーニングの注意

- フロントパネルやスイッチ類が汚れたら、水で軽く湿らせた柔らかい布で拭いてください。けっして、クリーニング液を直接スプレーしないでください。
- アルコールやベンジンなど、揮発性の液体を使用しないでください。変色や、変質の原因となります。

## 安全にお使いいただくためのご注意

ドライブの中に異物や液体が入ってしまった場合は、直ちにコンピューターの電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いて、HPのサポート窓口にて点検を依頼してください。

## 運搬時の注意

コンピューターを運搬する場合は、以下のことを守ってください。

1. ハードディスク内のファイルのバックアップをPDディスク、テープカートリッジ、CD、またはUSBフラッシュドライブにとります。バックアップをとったメディアは、保管中または運搬中に、電気や磁気の影響を受けないよう気をつけます。

 **注記：** ハードディスクドライブは、システムの電源が切れると自動的にロックされます。

2. すべてのリムーバブルメディアを取り出して保管します。
3. コンピューターと外部装置の電源を切ります。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き取り、次にコンピューターからも抜き取ります。
5. 外付けデバイスの電源コードを電源コンセントから抜いてから、外付けデバイスからも抜き取ります。

 **注記：** すべてのボードがスロットにしっかりとはめ込まれていることを確認します。

6. お買い上げのときにコンピューターが入っていた箱か、同等の箱に保護材を十分に詰め、コンピューターとキーボードやマウスなどの外部システム装置を入れて梱包します。

# 索引

- D**
  - DisplayPort モニター コネクタ 3
- R**
  - RJ-45 コネクタ 3
- S**
  - SODIMM
    - 仕様 16
    - 取り付け 16
- U**
  - USB コネクタ
    - フロントパネル 2
    - リアパネル 3
- V**
  - VGA モニター コネクタ 3
- W**
  - Windows ロゴ キー
    - 位置 4
    - 機能 4
- あ**
  - アクセス パネル
    - 取り付け 11
    - 取り外し 10
    - ロックとロック解除 35
  - アプリケーション キー 4
- う**
  - 運搬時の注意 43
- お**
  - オーディオ コネクタ 2
  - オプティカル ドライブ
    - 位置 2
    - ガイドライン 43
    - クリーニング 43
- 使用上の注意 43
  - 取り付け 22
  - 取り外し 20
  - リリース ラッチの取り付け 21
- か**
  - ガイドライン、コンピューター操作 42
  - 各部
    - キーボード 4
    - フロントパネル 2
    - リアパネル 3
- き**
  - キーボード
    - 各部 4
    - コネクタ 3
- こ**
  - コネクタ カバー 28
  - コネクタ
    - DisplayPort モニター 3
    - PS/2 キーボード 3
    - PS/2 マウス 3
    - RJ-45 3
    - VGA モニター 3
    - オーディオ出力 3
    - オーディオ入力 3
    - 電源コード 3
      - フロント 2
      - ヘッドフォン 2
      - リア 3
  - コンピューター
    - 機能 1
    - 仕様 29
    - セキュリティ ロック 35
    - 操作のガイドライン 42
    - 横置きから縦置きへの変更 15
- し**
  - システム電源ランプ 2
  - 仕様
    - SODIMM 16
    - コンピューター 29
  - シリアル番号の記載位置 6
- す**
  - ステータス ランプ 4
- せ**
  - 静電気対策、損傷の防止 41
  - 製品識別番号の記載位置 6
  - セキュリティ
    - HP Business PC セキュリティ ロック 37
    - 南京錠 36
    - フロントパネル 38
    - ロック ケーブル 35
  - 前面の各部 2
- た**
  - 縦置き 15
- つ**
  - 通気のガイドライン 42
- て**
  - 電源
    - コード コネクタ 3
    - 接続 9
    - 動作電圧 29
    - ボタン 2
- と**
  - ドライブ
    - オプティカル ドライブの取り付け 22

オプティカルドライブの取り外し 20  
ハードディスクドライブのアップグレード 24  
取り付けガイドライン 7  
取り付け  
SODIMM 16, 18  
オプティカルドライブ 22  
コネクタカバー 28  
セキュリティロック 35  
ハードディスクドライブ 24  
バッテリー 31  
メモリモジュール 16, 18  
取り外し  
アクセスパネル 10  
オプティカルドライブ 20  
コネクタカバー 28  
ドライブベイカバー 14  
ハードディスクドライブ 24  
バッテリー 31  
フロントパネル 12

## な

内部部品、アクセス 10  
南京錠 36

## は

ハードディスクドライブ  
アップグレード 24  
ランプ 2  
バッテリーの交換 31  
パネル、取り外し 12

## ふ

フロントパネル  
セキュリティ 38  
ドライブベイカバーの取り外し 14  
取り外しと取り付け 12

## へ

ヘッドフォンコネクタ 2

## ま

マイクコネクタ 2  
マウスコネクタ 3

## め

メモリモジュール  
仕様 16  
取り付け 16

## も

モニター、接続 3

## ら

ラインアウトオーディオコネクタ 3  
ラインインコネクタ 3  
ランプ、システム電源 2

## り

リアパネルの各部 3  
リリースラッチ  
オプティカルドライブの取り付け 21

## ろ

ロック解除、アクセスパネル 35  
ロックケーブル 35  
ロック  
HP Business PC セキュリティ  
ロック 37  
南京錠 36  
フロントパネル 38  
ロックケーブル 35